

美の感覚と山岳美

私は四姑娘山で現地の村人を連れて山奥を歩き廻るようになって、美の感覚が世界共通ではない事を実感しました。

私が美しいと思う花や風景と現地に住む人々や後年観光開発されて2000年以後に急増した初期の中国国内観光客のそれとがかなり乖離していたのです。

美の感覚は文化であり、文化が異なれば美の感覚が異なるのでした。

中国には素晴らしい伝統的な山岳美が有ります。その代表が黄山です。昔、私は黄山の山岳美に関心を持ち黄山を繰り返し訪れて撮影した事があります(写真1)。

四姑娘山にも黄山型の山岳美が有り、現地のチベット族や初期の中国国内観光客はもっぱらそれを賞賛していました。

しかし四姑娘山の主要な山岳美はアルプス型で、写真集「蜀山女神」で紹介している山岳美の殆どもアルプス型です(写真2)。

伝統的な中国文化だけによっては、アルプス型の山岳美を理解できないようでした。

四姑娘山に住む殆どの村人も同様でしたが、現在では彼らは私を含む外国の観光客の言動を観察して美の感覚を変えつつあります。

又ここ数年自然に親しもうとする若い中国国内観光客が増えつつあり、彼らもアルプス型の山岳美を理解し関心を持っています。

今後、中国における更なる経済の発展と外国文化の理解が進行するに連れて、アルプス型の山岳美に関心を持つ中国国内観光客が増えるでしょう。

そしてこのような文化の理解によって、言葉の障壁を越えた中国と外国との真の相互理解と国際協調の意識が更に深まって行くことでしょう。

注)「黄山型」や「アルプス型」の言葉は説明のために便宜的に付けた名称で、広く認知されている名称ではありません。



写真1 中国の伝統的な山岳美の黄山(安徽省)



写真2 四姑娘山の主要な山岳美はアルプス型(四川省)